

持好院家書目録

三

			二三四五	和書門
		六三	四號	
一〇	四架	函	類	
冊				

庫	文	閣	内	
五		二		和
四		三四		書
函	一〇	五		
一七	冊	四		
架		號	類	

内閣文庫			
番號	和	23454	
冊數	10 (3)		
函號	154	354	



傳言口信思ふが事なむ

一 下本 皇朝 天保 十一年 卯辰 月 廿九日

一 書 宛 藤原 公 藤原 公 藤原 公

一 事 由 凡 事 申 上 申 上 申 上

一 事 由 凡 事 申 上 申 上 申 上

一 事 由 凡 事 申 上 申 上 申 上

一 事 由 凡 事 申 上 申 上 申 上

一 事 由 凡 事 申 上 申 上 申 上

一 事 由 凡 事 申 上 申 上 申 上

一 事 由 凡 事 申 上 申 上 申 上

一 事 由 凡 事 申 上 申 上 申 上

雁鳥口傳思か次第注付之

淺草文庫

一ニホト云初智トアカ初智トハ別也ニホハツロフナリアカ

初智ニハラレシノケニタテニ一又字アルフアリトタコラニ

ニトハ尾下ニ白クアル名之ニホハツメノウラニニノ

キタ、スシテヒラカルヘトタコ又云シラアカト云

初智モアル歎詩字大成初智部ニ入歎但白赤ト云

ハスメ別ニ入ヒコウ引勘考之

一初智ツツナリニニツ同架ニツナリ時先我初智ツツナ

キテ後ニ貴人ノ初智ツツナリ又トル時ハ先貴人ノ初智

ヲトリテ後ニ我初智ツトル也タカヲリルハセシタメナリ

初智部

雁鳥口傳

一 祿ニ 鶯ヲ 見ル 時 大 緒ヲ 例 或 ツナキテ ワナヘニ
ス 千ナカラ 入テ 一ス 千ツク 妻方ヘ 引ハリテ 架ノワキヘ
ツナキト、ムルナリ

一 シロヲ ツナリ 板一 段 秘スル 事ニ 白ハ 大 鶯 兄 鶯 鶯 鶯

ニ アリ ツミコ 鶯 十トニ 六 其 沙 詰 十 日 本 ノ 夕 カ ニ テ ハ ナシ

白ハ 何 モ ヲ ウ ラ イ ヨ リ 渡 リ タル 鶯 也 但 シロキ

羽 アリ テ シロノ ヤウ 下ル 鶯 アル 事 モ アルヘシ ヲ シハフ

カウリノ フカバリノ 事 ハ 日 本 ノ 鶯 也 モ アルヘキニシ

ロハシロトコロセケルアリ是シロヲシルヘキ口傳く一目

ノ 夕 夕 ツク トメ 高ク ノ 鶯 鶯 鶯 鶯 十トノ 時ノ 板

一 アルヘシ一ラニヒトテハナノ毛白ニ一毛ニモシロクフク

シラカケタルヤウニアルヘシハシトツメトアメキノツノ、板

アルヘシ一羽 鶯 シロカルヘシ一アニウツラノアミノコトク

カニキコニカニテシロクウツクニキク一羽ウラ子リヌキノ

コトクフモナリテキラクトシテ白ニイカニモニユシロク

地セケル白ノ見羽ノ口傳クニシロノ 鶯 鶯 鶯 鶯 事アルヘカ

ラスツナキ板ハ例式ツナク板ニテワナヘ一ス千ヲ入テ

カメワサニナルヲ一ス千中ニテ 緒ト、ム 今テ一ス千ヲハワレ

モワサニ入テ一ス千ヲソノ一、サケテカメワサニムスビテヲ
クヘシ大ナル 秘 事 也 細クツナリヘカラサル 事 也 大 緒 也

白クスルナリ又紫ナトモスルニアシク皮ヲモ白ナメシノ
イカニモく皮心ノヨキヲスル者也

一様トトニテ月タカリシテヤカテ可五時ハツナキ振例式ニハ
カハルベシツ子ノ振ツナキワサ。今テ引トヲシムスビトメスシ
テヲクナリトニルヘキテハ例式ノユトクムスヒトメテツナ
リヘキニ又云也。振ヲツナク時大結ヲムスヒトメスツ
ナクニ故實アリ自然函事ノ時振ヲハナス事アリ
其時架ニ振ヲツナク時大結ヲムスヒトメス其ハワサヘ
入スニテ大結ヲソノニマヲクシテ時ノ振神例也。巨ク

一函事ノ時ハナス振ヲ振振ニシテ先架ヲサウ不ノ側ニ
結ホコノ不ヲツ子ノハ振ノ右ニテルフトク結ヲハ

ホコノ本本振ノ花へ結ニ餅袋ニシテエラサス紙ニテ
多ノカタヲ切テ入ルニシロキ大緒ニテニハニアコトツカサト
サズニテツナキテヲク振ノタナサキノ鈴付尾ヲ一枚ニラ
ノコニテキルナリ其時大ヲモヒキテおルニソノ大ノ尾ノサ
キヲ一文字ニ切ナリ只ノ時大尾サキヨリロユルハニロクハサ
ムクサテ振ノ足ヲ切テハナスナリ大ナル秘事キト人
相傳アルヘカラサレ事也

一鴈ヲニツトル事アリ坂東ニハコレヲウフトリト云
ハ事ト云ヒ振出スルニクワセ秘事ニテ鴈ノクワ

セ石ノ方ニ飼打合スレハ一ニナル心ニサレハ石ニクワセ
アルトテ雑スヘカラス何事モ御命ヲ人テワラウヘカラス
一十鳥ノクワセ秘するニ花ノ羽ウラ一ニテ羽ヅシノ所ヲカウ
春ノキジノメシ多クワセノコトクスルニ又トリ飼ヲナラ
ハ何モム子ヲ飼ヘキ

一鴨ノクワセモ秘するニウケガイノシタヲカウナリト
リカバム子ヲ飼ヘキナリシギツハサムカキノ葉ヲあ
方ニアテハハサムナリカキノ葉ヲアラシテハサムモ多ク
一春雑ノメシ多クワセトリ飼ツノ飼秘アリニ

サキテ飼ス千ノアルハアワラアル故ナリ又云鷹
丸飼時ハニルヲカリ事ナシ但カリ祝モアリ當家ノ

祝ニハニルヲアケスニテ死ノワキヘヨセテタカリカウニツ
入ル秘ニニルクウチヘウツクミク飼ナリ多クハ丸飼大雀
一ツオ斗ホト飼ニ七日ヤスマヲツカウセタラカケス

又云雑ノ鴨クワセノ事多分丸ヲカハスメ羽フミヲ飼
ナリ死ノ羽節ウラ一ニノ骨ノマハヒヲカウナリ

一丸飼又雑ヲ人ニ渡ス極大猪ヲ一スゲ人ノ方ヘ
ワクシテ今一丸ノカタクノ猪ヲ例式上中下ノ人ノ

品ヲ覚悟ニテワタスヘキナリ惣而人ニ雑ヲ渡ス莫
世々何カト云欲別ナル事ナシニ指礼ト云事大古

秘子や是又別口傳き

一フセテカコニ入ルニモアラ夜多クハ夜ニテカゴノナカライフ
ヨリ合テ結トムル之ツノ夜ニ大緒ヲムスヒツクニ者
ヤ元鋼タルタカクハ夜ヲ畧シテ杖ヲナカニモツヤ
ウニヨユニ結ヒツノツエニ結ヲ結ツクルナリ

一鶴ノ厲鶴ナトツ人ノ方へをトテ一をトハカス是
ハユトハツケテトラセヌ也自地人ノ方ヨリシテハ一ツ
トカクトモ一ツ結トハカクヘカラサル是ナリ

一ニノタカキタカク人ノ所をニテ相ヤハツ見ヘキ
ト申事アラハ御殿カナハスツカウ事 治定セハ今
餅ヲ多ク飼ナリカヒヤウ大ナル秘子ナリスルキ

湯ニテニニ度洗テヨクシタメテセウヘシノイミヤウラ
タキノ水ト云ソノセウヘシサツケテサテシタメテ又イニ
シトヲシカケテアタカナルヲ飼ヘシ必明日トナリ

一名養ノ秘説也

一鶴ノ雜ヲル事アリクワセ大キナル秘子也キジノ
尾ノモ、ノツケギハノ毛ヨリトハタトハ一ツツクナリ
リノヲモテヨリソトノカタノワキヘトリカウヘキナリ山
ヲハカテヌ也タイニ居ヘキナリ凡ノ人ニ示ラセ傳ス
包丁者ナトモバクハセヲシリタカシ事也

一 雉ノ一ウナト云テ八月九月ノ時分大禊鳥ニトラスル
事アリソノクワセヲモ鶴ノクワセノコトク飼具名ヲ
小鳥カイト名付之ソレハ山鏡ヲカケルナリソレモ鶴
トリタラハ山鏡ヲカケニキナリ何モ秘之ハ小鳥カイ
ハシル人モアルヘキ

一 白ノ兄禊鳥大禊鳥ノクワセモ秘事ノ上ノ秘説至
極也クワセヲカツラニヘカウヘニトリカウホト別式
飼種ノコウヲニ、ヲアウ事ニロモカキル事ノナラ
口傳多キ事

一 白ノ内ニモ雪白ト云モアリソレハ想白鳥ノコトク又
青白ト云ハセナカトモブイ路鳥ノ極ナリ只白ト云ハ
前ニ記ブトク七前アリテ大ニイニロナルヘシモ極
口傳アル事

一 禊鳥ヲ呼フび大禊鳥兄禊鳥ニカハルナリ人コレヲシラス
スナカハエユエ兄禊鳥ハ二羽ナリユエ口傳アル事ナリ
ツ子人ノヲクユエお邊スル

一 鶴ノツキユエカスハナシコレモ子細アリ口傳ニテナクハ心
ラレカタキ事



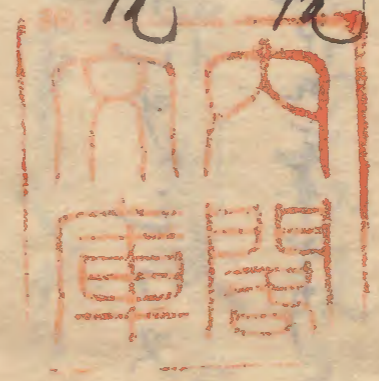
鳥尾

鳥尾

鳥尾

鳥尾

鳥尾



Faint vertical text in kuzushiji script, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is mostly illegible due to fading and the texture of the paper.

